

2025年2月3日
受付開始

健康診断・がん検診等の「二次検査 予約専用ダイヤル」

重大な病気こそ、早期発見・早期治療が大切!

「はり姫」では一次健診(健康診断・がん検診等)はおこなっていませんが、一次健診で「要再検査」「要精密検査」と判定された項目の二次検査を**患者さんから直接予約**していただける「二次検査 予約専用ダイヤル」を開設しました。一部の精密検査項目は、患者さんの来院回数を効率化できるオンライン診療にも対応しています。詳しくは「はり姫」ホームページをご覧ください。

予約
受診の
流れ

- ① お手元に
- ・健康診断結果
 - ・筆記用具(予約日時を書き留める用)
- をご用意ください。

② 「二次検査 予約専用ダイヤル」におかけください。

電話番号：090-1693-3966
受付時間：(平日)月・水・金曜日の11時～13時

- ③ 次のことをお聞きします。
- ・検査結果、受診希望の二次検査の内容
 - ・当院(旧姫路循環器病センターまたは旧製鉄記念広畑病院含む)の受診歴(分かる場合は診察券に記載された患者番号)
 - ・受診される方の氏名、性別、生年月日、ご連絡先 など

受診当日は、**予約時間の30分前**に必ずご来院ください。

ご持参いただくものや受付方法など詳細は、「はり姫」ホームページをご覧ください。



HOME > 外来受診のご案内 > 二次検査予約

対象診療科	再検査・精密検査の対象項目
総合内科	・内科検診(心雑音以外) ・総コレステロール、HDL、LDL、中性脂肪 ・総蛋白・アルブミン、LDH(AST・ALTの上昇が無い場合) ・コリンエステラーゼ、尿酸、カルシウム ・腫瘍マーカー ・CRP・CPK ・腹部超音波検査(リンパ節・その他)
循環器内科	・内科検診(心雑音) ・心電図検査 ・胸部X線検査(心拡大)
糖尿病・内分泌内科	・BMI ・血糖、HbA1c、尿糖 ・TSH、遊離T3、遊離T4 ・腹部超音波検査(副腎)
消化器内科	・AST、ALT、γGTP ・HBs抗原、HBs抗体、HCV抗体 ・アミラーゼ ・バリウム・胃内視鏡検査、便潜血 ・ABC検診(ピロリ判定・ヘブシノゲン) ・腹部超音波検査(肝・胆・膵・脾・腸管)
腎臓内科	クレアチニン、尿素窒素、尿検査(尿糖以外)、尿蛋白
呼吸器内科	胸部X線検査(心拡大以外)
脳神経外科	脳ドック異常
産婦人科	子宮頸部細胞診検査、腹部超音波検査(子宮・卵巣)



はじめまして!

はり姫公式キャラクター
「はり姫ちゃん」が誕生しました。

- ・腎臓内科(尿検査(蛋白尿・血尿))
- ・消化器内科(胃部X線検査、大腸検査(便潜血))

で「要精密検査」の判定があった方は、**オンライン診療**も可能です。

「はり姫」ホームページ
HOME
> 外来受診のご案内
> オンライン診療



良質な医療を、良質なチームで。
兵庫県立
はりま姫路総合医療センター

〒670-8560 兵庫県姫路市神屋町3丁目264番地
TEL：079-289-5080
FAX：079-289-2080
HP：https://hgmc.hyogo.jp



【姫路バイパス】
・姫路南ランプから9分(3.5km)
・市川ランプから7分(2.6km)
【播但連絡道路】
・花田インターから11分(4.4km)



【JR神戸線】
・姫路駅から12分(910m)
・東姫路駅から9分(710m)
【JR播但線】
・京口駅から12分(950m)



【バスで
お越しの方】

【バスでお越しの方】
姫路駅北側バスターミナル5番のりばから
26系統：東姫路駅行き
26系統：阿保車庫行き
に乗車

姫路駅南側バスターミナル22番のりばから
92系統：白浜海岸行き
93系統：東山循環 または 形的循環行き
に乗車
病院北側「県立はりま姫路総合医療センター前」で降車

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 広報紙

はりひめ

No.04 2025年2月1日発行

健康診断結果が大切なんです!

数字で見る
健康寿命
を延ばすコツ。

「要再検査」「要精密検査」と診断された方のうち、
100人中3~4人は
専門的な治療が必要な
状態です。

親展

健康診断結果票在中

健康寿命と

寿命と健康寿命には、
約**10**年もの開きがある

50歳代～70歳代の死因の半数以上を、がん（悪性新生物）・心疾患・脳血管疾患の3大疾病が占めている——このことをご存知の方は多いと思います。一方で、健康診断やがん検診で二次検査（再検査・精密検査）が必要という結果が出て「いま特に体に不調を感じていないし……」と先延ばしにされる方も少なくありません。たとえば、1cmのがんが2cmになるまでは、たったの1～2年。重大な病気こそ、早期発見・早期治療が大切なんです！

健康診断結果

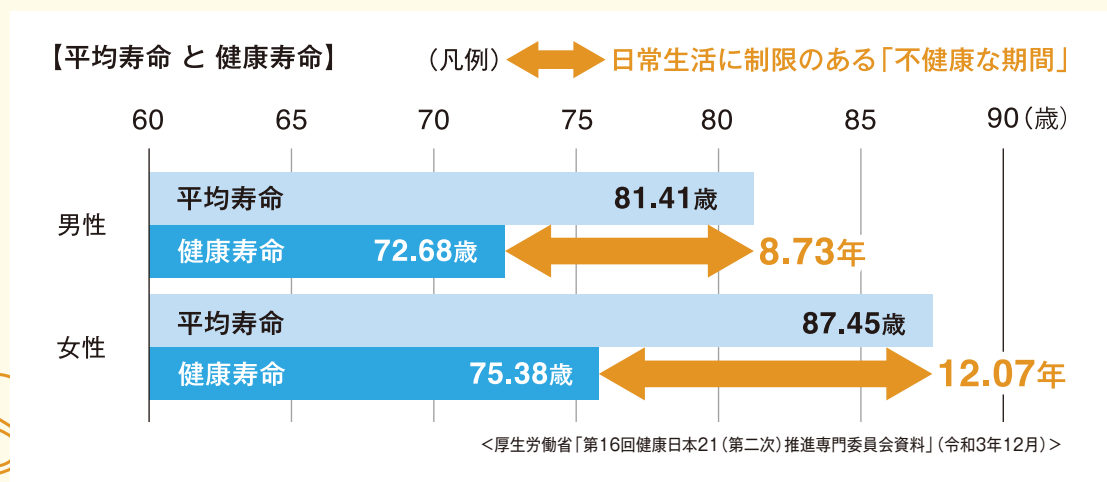
検査項目			結果
血圧	110/70	正常	
血糖	100	正常	
脂質	150	正常	
肝機能	25	正常	
腎機能	1.2	正常	
尿検査	正常		
胸部X線	正常		
大腸内視鏡	正常		
胃内視鏡	正常		
子宮頸がん検診	正常		
乳がん検診	正常		

寿命と健康寿命には、
約**10**年もの開きがある



「健康寿命」とは
病気で入院したり
介護を必要としたりしない、
日常生活に制限のない期間のこと。

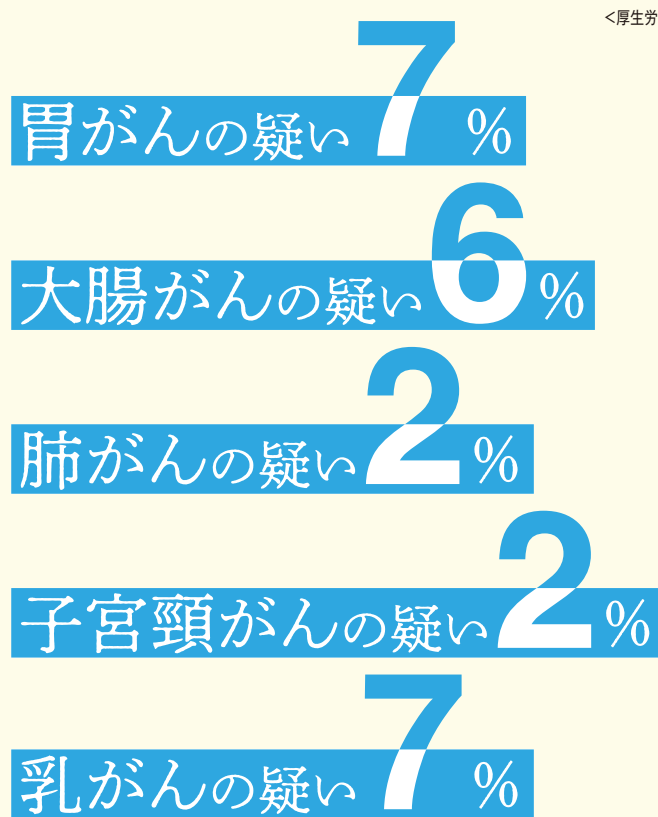
日本は世界屈指の長寿国。平均寿命は年々延びていて、今後も延び続けるの見込まれています。せっかく長生きするのなら、ただ長生きするだけでなく、健康で自立した暮らしをできるだけ長く送りたいですね。「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」を「健康寿命」といいます。平均寿命と健康寿命の差は、男性が8.73年、女性が12.07年。男女ともに10年



前後にわたって、入院や介護など、日常生活に制限を抱えながらの不自由な状態にあることがうかがえます。健康寿命をいかに延ばすか。適度な運動、バランスの良い食事、質の良い睡眠、人とのつながり……大切なことはいろいろありますが、定期的な健康診断で「病気になるっていないか」「病気になるやすい状態になっていないか」も必ず忘れずにチェックしてください。

「再検査・精密検査」が必要になる人の割合

<厚生労働省「第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」（令和3年12月）に基づき作成>



このうち、
すぐに治療が必要な人は
30人に**1**人ほど
(3～4%)

がんは非常に身近な病気です。国立がん研究センターの2023年データによると、日本人が一生のうちにがんと診断される確率は、男性62.1%、女性48.9%。およそ**2人に1人ががんにかかる**計算です。「怖い病気にかかっていたらどうしよう。それが心配で二次検査（再検査・精密検査）に行きづらかった」とおっしゃる患者さんが時折いらっしゃいます。健康診断やがん検診で二次検査が必要な人のうち、30人に1人ほどはすぐに治療が必要な状況にあります。1個のがん細胞が1cmのがんの塊になるまで、10年～30年ほどかかるといわれています。1cmであれば、まだ画像診断などでは見つけられません。しかし油断していると、**1cmのがんの塊はたったの1～2年で2cmに成長**してしまうのです。

もちろん、健康診断で「なっているかもしれない、なりやすい状態かもしれない」を見つける対象は、がんだけではなくありません。代表的な症状の一つが、**動脈硬化**。動脈硬化といえは心疾患や脳血管疾患に大きく関与している印象が強いかもしれませんが、じつは**認知症（脳血管性認知症）を引き起こすリスクも高めます**。動脈硬化が進行すると、脳内の血管も血液の流れが悪くなり、酸素・栄養が行きわたらずに脳細胞が死滅してしまうのです。認知症は、その前段階の軽度認知障害も合わせると、65歳以上の3人に1人がかかる病気です。認知症には数多くの種類があって、脳血管性認知症は認知症全体のおよそ20%を占めています。



- 早期がんは
- ▶ 自覚症状がほとんどない
- ▶ 治る可能性が高い
- ▶ たった1～2年で大きく進行する

早く見つけて、早く治す。
そのためにまず、再検査・精密検査を。
(二次検査)



「はり姫」でも健康診断の二次検査ができません！



院長 木下芳一

患者さんに「どうしても健康診断の二次検査（再検査・精密検査）をされなかったんですか？」と伺うと、「かかりつけ医がおらず、相談できる人がいなかった」「どの診療科に検査に行ったらいいかわからなかった」「仕事を休んで何度も病院へ行けない」とお答えになる方が少なからずいらっしゃいます。日頃から健康相談をできるかかりつけの先生をもっといただくことがベストですが、もし、こういった悩みから二次検査を躊躇されている場合は、「はり姫」でも二次検査ができますのでご活用ください。再検査・精密検査項目に対して、（自覚症状がないからといって）自己判断をするのは非常に危険です。必ず医師に相談して、健康寿命を延ばすチャンスを見逃さないようにしましょう。

裏表紙をご覧ください

